

平成8年茨城県農業基本調査結果（その1）

— 県内の農家数14万戸切る（3年間で5%減）高齢者も6割を越す —

調査の概要

1. 調査の目的

茨城県統計調査条例（昭和36年茨城県条例第16号）及び茨城県農業基本調査規則（昭和52年茨城県規則第68号）に基き、本県農業の実態を把握し、農業経営の改善と農業行政施策を推進していくための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の期日

平成8年2月1日

3. 調査の範囲

平成8年2月1日現在で次のいずれかに該当する県内全ての農業事業体（農家及び農家以外の農業事業体）について調査を行った。

- (1) 経営耕地面積（借入地を含む）が10a（約1反）以上で農業を行う世帯
- (2) 経営耕地面積（借入地を含む）が10a未満であっても、調査期日前1年間における農産物の総販売金額が15万円以上ある世帯
- (3) 学校・試験場・農協・協業経営体・会社等のうち、上記(1)(2)のいずれかに該当する世帯以外の農業事業体（以下「農家以外の農業事業体」という。）

4. 調査の系統

県—市町村—調査員—農業事業体

5. 調査の方法

調査員が担当調査区内の該当する全ての農業事

業体に調査票を配布し、各事業体が記入する自計申告により行った。

6. 調査の事項

- (1) 世帯員
- (2) 土地
- (3) 過去1年間の延収穫面積
- (4) 果樹栽培面積
- (5) しいたけ栽培
- (6) 過去1年間の掃立卵量（養蚕）
- (7) 施設園芸
- (8) 家畜等
- (9) 農業用機械
- (10) 過去1年間の農業雇用
- (11) 農作業の請負い・請負わせ
- (12) 過去1年間の農産物の総販売金額

7. 今回調査の主な改正点

- (1) これまでの「農作業をよそに請負寄せた面積等」に「農作業をよそから請負った面積等」を追加した。
- (2) 農家の跡継ぎ状況を正確に把握するために、「農業後継者」を追加した。
- (3) 平成元年度に設定した「農家類別分類」の名称及び区分がなじみにくいこと等から「主副業別分類」に変更した。
- (4) 従来は16歳以上をもって「生産年齢人口」としていたが、国勢調査の年齢区分に合わせて、「15歳以上」に改めた。

8. 用語の定義

- (1) 農家
農家とは、平成8年2月1日現在の経営耕

地面積が10 a以上の農業を営む世帯及び経営耕地面積がこの規定に達しないか全くないものでも、調査期日前1年間における農産物の総販売金額が15万円以上あった世帯（これを「例外規定農家」という。）をいう。

- ① 主業農家…農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の子帯員がいる農家をいう。
- ② 準主業農家…農業所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、65歳未満の農業従事60日以上の子帯員がいる農家をいう。
- ③ 副業的農家…①②以外の農家をいう。

(2) 農家以外の農業事業体

農家以外の農業事業体とは、(1)で規定した農業を営む世帯以外の農業を営む事業体であって、経営耕地面積10 a以上あるもの又は経営耕地面積がそれ未満であっても調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あるものをいう。

(3) 経営耕地等

調査期日現在農家の経営している耕地について、土地台帳上の地目や面積に関係なく、実際の地目別の面積を聞き取ったもので、自家で所有し耕作している耕地（自作地）と、よそから借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計である。

田……耕地のうち、水をたたえるためのけいはんがある土地をいう。ただし、もとは田でけいはんが残っていても果樹など永年性の木本性植物を栽培している耕地は田とせず樹園地とした。

畑……耕地のうち、田と樹園地を除いたも

ので、普通畑・牧草専用地などをいう。

樹園地……果樹・茶・桑などの作物を規則的に又は連続的に栽培している土地で、同一種類が1 a以上まとまっている土地をいう。

(4) 農家人口

農家人口とは、原則として住居と生計を共にしている農家の世帯員のことをいい、出稼ぎに出ている者、血縁や婚姻関係がなくても生計を共にしている者は含めるが、通学、就職のため独立してよそに住んでいる者は除く。

(5) 農業従事者

15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に少しでも自営農業に従事した者をいう。

(6) 施設園芸

施設とは、人が中で通常の姿勢で作業できる高さのもので、園地全面を覆う構造となっていて、保温効果のあるものをいう。ただし、過去1年間使用しなかった施設やきのこ栽培、作物の育苗等にのみ使用したものは含まない。

(7) 家畜、養蚕

家畜の飼養頭羽数は、調査期日現在のものである。育成牧場等よそへ預託しているものは含むが、会社などよそから飼養を受託しているものは含まない。なお、ブロイラーの出荷羽数及び養蚕の掃立卵量（おおむね10gを1箱として換算）は、調査期日前1年間のものである。

(8) 農業雇用労働

農業年雇……主として自営の農作業のために雇った人で雇用契約（口頭契約でもよい。）に際し、あらかじめ7カ月以上の期間を定め

て雇った人のことをいう。
農業臨時雇……農業雇用労働のうち、農業

年雇以外のもので農業季節雇、農業日雇などのことをいう。

結果の概要

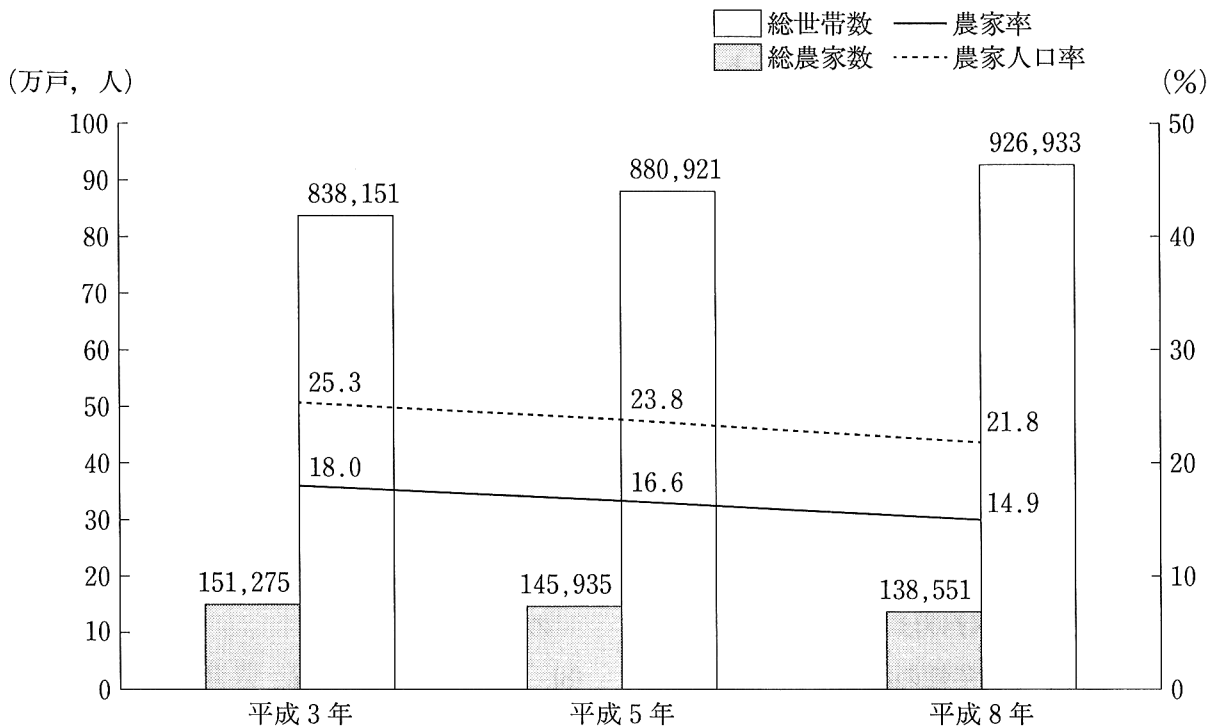
1. 総農家数及び農家人口

平成8年2月1日現在の県内の総農家数は138,551戸となり、前回平成5年から平成8年の3年間に7,384戸、5.1%減少した。また、農家率(総世帯に占める農家世帯の役割)は1.7ポイント低下し、14.9%となった。

農家人口は前回と比較して47,552人、6.9%減少し、645,453人となり、農家人口率も2.0ポイント低下し、21.8%となった。なお、農家一戸当たりの世帯員数は4.7人である。

総農家数を地域別にみると県南地域が36,545戸と最も多く、次いで県西地域の34,377戸の順となっている。農家率、農業人口率については県西地域が最も高く、次いで鹿行地域の順となっている。(表-1, 表-2, 図-1)

図-1 総農家数、総世帯数、農家率、農家人口率の推移



表－１ 総農家数及び農家人口

単位—農家数・世帯数：戸，人口・世帯員数：人
増減率・農家率・農家人口率：％

区 分		総農家数 ①	総世帯数 ②	農家率 ①／②	農家人口 ③	総人口 ④	農 家 人 口 率 ③／④	農家一戸 当 たり 世 帯 員 数
実 数	平成 3 年	151,275	838,151	18.0	723,239	2,854,589	25.3	4.8
	平成 5 年	145,935	880,920	16.6	639,005	2,912,012	23.8	4.7
	平成 8 年	138,551	926,933	14.9	645,453	2,960,929	21.8	4.7
増 減 数	平 3 ～ 平 5	△5,340	42,769		△30,234	57,423		
	平 5 ～ 平 8	△7,384	46,012		△47,552	48,917		
増 減 率	$\frac{(\text{平}5 - \text{平}3)}{\text{平}3}$	△3.5	5.1		△4.2	2.0		
	$\frac{(\text{平}8 - \text{平}5)}{\text{平}5}$	△5.1	5.2		△6.9	1.7		

注) 総世帯数及び総人口は、各年 2 月 1 日現在の茨城県常住人口調査による。

表－２ 地域別総農家数及び農家人口

単位—農家数・世帯数：戸，人口・世帯員数：人
農家率・農家人口率：％

区 分	総農家数 ①	総世帯数 ②	農家率 ①／②	農家人口 ③	総人口 ④	農 家 人 口 率 ③／④	農家一戸 当 たり 世 帯 員 数
県 計	138,551	926,933	14.9	645,453	2,960,929	21.8	4.7
県 北 地 域	28,286	219,093	12.9	113,659	665,804	17.1	4.0
県 央 地 域	24,379	161,957	15.1	109,532	492,453	22.2	4.5
鹿 行 地 域	14,964	80,301	18.6	74,151	269,928	27.5	5.0
県 南 地 域	36,545	302,118	12.1	176,052	951,877	18.5	4.8
県 西 地 域	34,377	163,464	21.0	172,059	580,867	29.6	5.0

2. 主副業別農家数

総農家数を主副業別にみると、主業農家は18.7%の25,854戸，準主業農家は21.4%の29,673戸，副業的農家は59.9%の83,024戸となった。

また、地域別にみると、県北地域では他の地域と比較して副業的農家の比率が高く、総数の68.1%を占めている。

なお、従来の専兼業別分類を今回の調査から主副業別分類に変更している。(表－3)

表－3 地域別主副業別農家数

単位—実数：戸
構成比：%

区 分		総農家数	主業農家	65歳未満の 農業専従者 が いる	準主業農家	65歳未満の 農業専従者 が いる	副業的農家
県計	実数	138,551	25,854	20,359	29,673	7,901	83,024
	構成比	100.0	18.7	14.7	21.4	5.7	59.9
県北 地域	実数	28,286	2,889	1,850	6,145	1,754	19,252
	構成比	100.0	10.2	6.5	21.7	6.2	68.1
県央 地域	実数	24,379	3,942	3,025	5,550	1,597	14,887
	構成比	100.0	16.2	12.4	22.8	6.6	61.1
鹿行 地域	実数	14,964	5,390	4,867	2,674	930	6,900
	構成比	100.0	36.0	32.5	17.9	6.2	46.1
県南 地域	実数	36,545	6,414	4,473	8,555	2,015	21,576
	構成比	100.0	17.6	12.2	23.4	5.5	59.0
県西 地域	実数	34,377	7,219	6,144	6,749	1,605	20,409
	構成比	100.0	21.0	17.9	19.6	4.7	59.4

3. 家としての主な兼業種類別農家数

兼業農家118,856戸のうち 雇われ兼業は98,803戸(構成比83.1%), 自営兼業は20,053戸(同16.9

%)である。兼業種類別にその構成比をみると、「正社員, 正職員」が72.6%と最も多く, 次いで「その他」が16.4%となっている。(表-4)

表-4 家としての主な兼業種類別農家数

単位—実数：戸
構成比：%

区分	総数	雇われ兼業				自営兼業			
		雇われて 農作業に 従事	正社員 正職員	パート アルバイト	パート・ アルバイト 以外の 臨時雇用	林業	漁業	その他	
県計	実数	118,856	156	86,287	7,174	5,186	306	283	19,464
	構成比	100.0	0.1	72.6	6.0	4.4	0.3	0.2	16.4
県北地域	実数	23,154	23	17,377	1,329	1,033	220	28	3,144
	構成比	100.0	0.1	75.0	5.7	4.5	1.0	0.1	13.6
県央地域	実数	20,889	40	15,119	1,199	989	44	30	3,468
	構成比	100.0	0.2	72.4	5.7	4.7	0.2	0.1	16.6
鹿行地域	実数	11,567	35	8,153	745	494	7	131	2,002
	構成比	100.0	0.3	70.5	6.4	4.3	0.1	1.1	17.3
県南地域	実数	32,815	52	23,730	2,217	1,522	26	91	5,177
	構成比	100.0	0.2	72.3	6.8	4.6	0.1	0.3	15.8
県西地域	実数	30,431	6	21,908	1,684	1,148	9	3	5,673
	構成比	100.0	0.0	72.0	5.5	3.8	0.0	0.0	18.6

4. 農産物販売金額規模別農家数

総農家数を農産物販売金額規模別にみると、100万円以上199万円以下及び300万円以上699万円以下の各階層では、前回と比較して総農家数の減少率を超える率で農家数が減少している。一方1,000万円以上の階層では、21.9%の増加となった。

(表-5)

主副業別にみると、主業農家では、200万円以上499万円以下の階層で31.4%を占め、最も多くなっている。

副業的農家では、49万円以下の階層が最も多く、67.1%を占めている。(表-6, 図-2)

表-5 農産物販売金額規模別農家数

単位—実数・増減数：戸
構成比・増減率：%

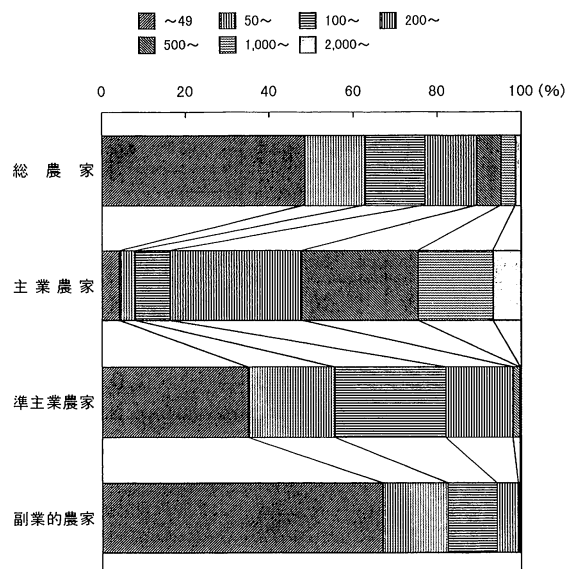
区 分		総数	販売なし	15万円未満	15~49万円	50~99万円	100~199万円	200~299万円	300~499万円	500~699万円	700~999万円	1,000~1,499万円	1,500~1,999万円	2,000~2,999万円	3,000~4,999万円	5,000万円以上	
実 数	平成5年	145,935	25,150	17,251	26,791	20,873	23,619	9,952	8,444	4,777	3,868	2,792	1,114	670	634		
	平成8年	138,551	25,306	16,931	24,955	19,987	19,672	9,764	7,460	4,209	3,780	3,460	1,278	980	478	291	
増減数		平5~平8	△7,384	156	△320	△1,836	△886	△3,947	△188	△984	△568	△88	668	164	310	—	—
増減率		(平8-平5)/平5	△5.1	0.6	△1.9	△6.9	△4.2	△16.7	△1.9	△11.7	△11.9	△2.3	23.9	14.7	46.3	—	—
構成比	平成5年	100.0	17.2	11.8	18.4	14.3	16.2	6.8	5.8	3.3	2.6	1.9	0.8	0.5	0.4		
	平成8年	100.0	18.3	12.2	18.0	14.4	14.2	7.0	5.4	3.0	2.7	2.5	0.9	0.7	0.3	0.2	

表-6 主副業別農産物販売金額規模別農家数

単位：戸

区 分	総 数	49万円以下	50~99	100~199	200~499	500~999	1,000~1,999	2,000万円以上
総 農 家	138,551	67,192	19,987	19,672	17,224	7,989	4,738	1,749
主 業 農 家	25,854	1,119	964	2,140	8,124	7,191	4,607	1,709
準主業農家	29,673	10,349	6,138	7,888	4,767	448	61	22
副業的農家	83,024	55,724	12,885	9,644	4,333	350	70	18

図-2 農産物販売金額規模別農家数構成比



5. 満15歳以上の就業状態別世帯員数

満15歳以上の世帯員数は、545,420人で、就業状態別にみると、「自営農業と兼業に従事し自営農業が主の人」の割合が最も高くなっている。(表-7) 年齢別にみると、45~49歳では、「自営農業と自営

農業以外に従事し兼業が主の人」の割合が最も高く、20~24歳では、「兼業だけに従事した人」の割合が最も高くなっている。また、65歳以上では、「自営農業だけに30日以上従事した人」の割合が最も高くなっている。(表-8, 図-3)

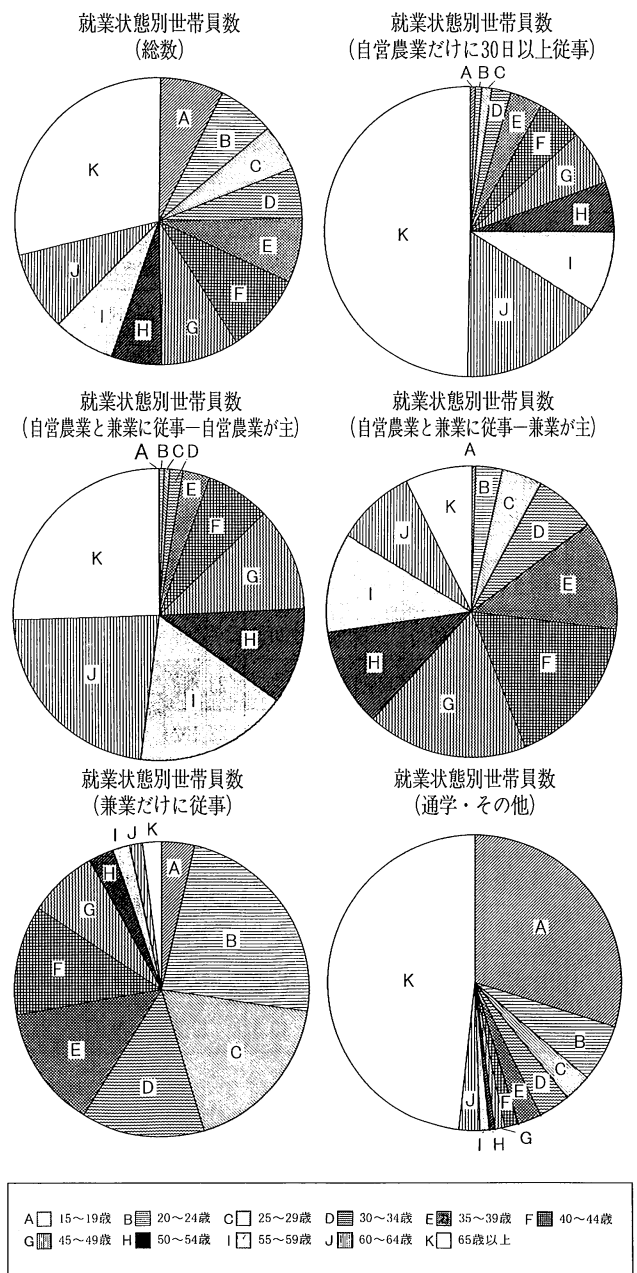
表-7 満15歳以上の就業状態別世帯員数 単位:実数:人 構成比:%

区分	総数	自営農業だけに30日以上従事した人	自営農業と兼業に従事した人		兼業だけに従事した人	通学・その他	
			自営農業が主	兼業が主			
計	545,420	175,563	10,900	154,032	91,072	113,853	
実数	男	267,201	72,745	6,656	104,100	44,656	39,044
	女	278,219	102,818	4,244	49,932	46,416	74,809
構成比	計	100.0	32.2	2.0	28.2	16.7	20.9
	男	100.0	27.2	2.5	39.0	16.7	14.6
	女	100.0	37.0	1.5	17.9	16.7	26.9

表-8 年齢別満15歳以上の就業状態別世帯員数 単位:人

区分	総数	自営農業だけに30日以上従事した人	自営農業と兼業に従事した人		兼業だけに従事した人	通学・その他
			自営農業が主	兼業が主		
計	545,420	175,563	10,900	154,032	91,072	113,853
15~19歳	38,948	1,084	12	538	3,360	33,954
20~24歳	34,572	1,223	51	4,548	21,603	7,147
25~29歳	28,660	1,868	74	6,966	16,313	3,439
30~34歳	30,827	3,816	160	10,518	12,405	3,928
35~39歳	40,426	6,354	325	18,641	12,185	2,921
40~44歳	48,840	8,966	772	26,390	10,943	1,769
45~49歳	47,420	10,606	1,251	27,502	6,889	1,172
50~54歳	31,139	9,840	1,164	16,845	2,535	755
55~59歳	37,836	16,003	1,874	17,049	1,723	1,187
60~64歳	48,457	28,589	2,439	13,535	1,214	2,680
65歳以上	158,295	87,214	2,778	11,500	1,902	54,901

図-3 年齢別世帯員の就業状態



6. 農業従事者数

農業従事者数は、前回と比較して、27,866人、7.6%減少し、340,495人となった。従事日数別では、100～149日の減少率が高く、22.5%の減少となった。(表-9)

年齢別にみると、50歳以上で従事者数全体の61.3%を占め、高齢化が進行している。150日以上に従事者数についてみると、60～64歳、65歳以上でそれぞれ18.4%、29.9%と割合が高くなっている。

(表-10, 図-4)

表-9 農業従事者数

単位—実数・増減数：人
構成比・増減率：%

区分		総数	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150日以上	
実数	平成5年	368,361	127,774	69,100	44,793	36,703	89,991	
	平成8年	340,495	126,010	68,662	41,328	28,457	76,038	
増減数	平5～平8	△27,866	△1,764	△438	△3,465	△8,246	△13,953	
増減率	$\frac{(\text{平8}-\text{平5})}{\text{平5}}$	△7.6	△1.4	△0.6	△7.7	△22.5	△15.5	
構成比	平成5年	100.0	34.7	18.8	12.2	9.9	24.4	
	平成8年	100.0	37.0	20.2	12.1	8.4	22.3	
男	平成5年	195,864	69,734	38,249	23,843	17,694	46,344	
	平成8年	183,501	69,596	38,324	22,102	14,146	39,333	
女	平成5年	172,497	58,040	30,851	20,950	19,009	43,647	
	平成8年	156,994	56,414	30,338	19,226	14,311	36,705	
構成比	男	平成5年	100.0	35.6	19.5	12.2	9.0	23.7
		平成8年	100.0	37.9	20.9	12.0	7.7	21.4
	女	平成5年	100.0	33.7	17.9	12.1	11.0	25.3
		平成8年	100.0	35.9	19.3	12.2	9.1	23.4

図-4 農業従事者数の構成(年齢別, 従事日数別)

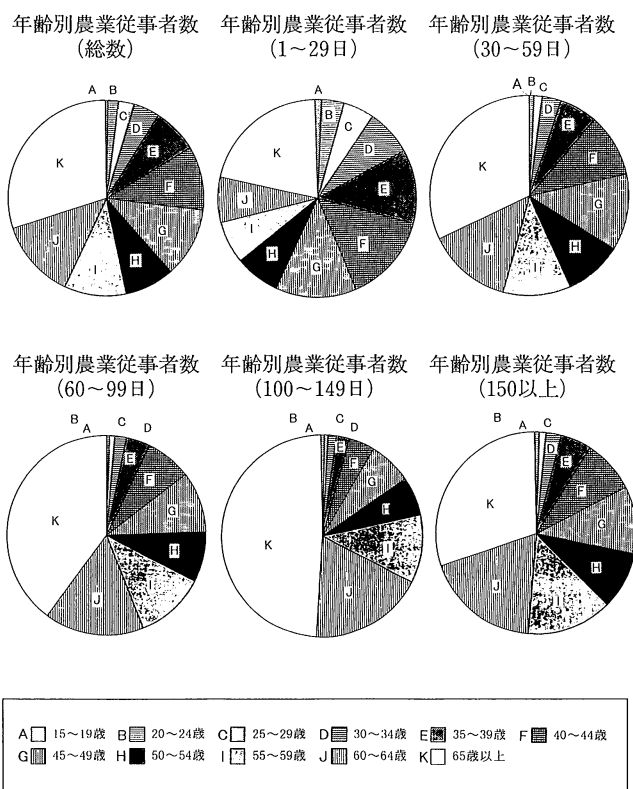


表-10 年齢別農業従事者数

単位：人

区分	総数	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150日以上
計	340,495	126,010	68,662	41,328	28,457	76,038
15～19歳	1,634	1,459	78	16	21	60
20～24歳	5,822	4,569	443	181	129	500
25～29歳	8,908	6,446	996	367	192	907
30～34歳	14,494	9,492	2,041	754	375	1,832
35～39歳	25,320	15,151	4,228	1,616	593	3,732
40～44歳	36,128	18,479	7,000	3,062	1,195	6,392
45～49歳	39,359	16,571	8,520	4,092	1,946	8,230
50～54歳	27,849	9,241	6,393	3,360	1,768	7,087
55～59歳	34,926	8,876	7,625	4,734	3,096	10,595
60～64歳	44,563	9,201	9,406	6,682	5,271	14,003
65歳以上	101,492	26,525	21,932	16,464	13,871	22,700

7. 農業就業人口

農業就業人口は、186,463人となった。年齢別では、65歳以上層が48.3%と最も高くなっている。また、男女別では、女子の割合が高く57.4%とな

った。(表-11)

従事日数別にみると、65歳以上で30~59日従事した者の割合が63.3%と高くなっている。(表-12、図5)

表-11 農業就業人口

単位：人数
構成比：%

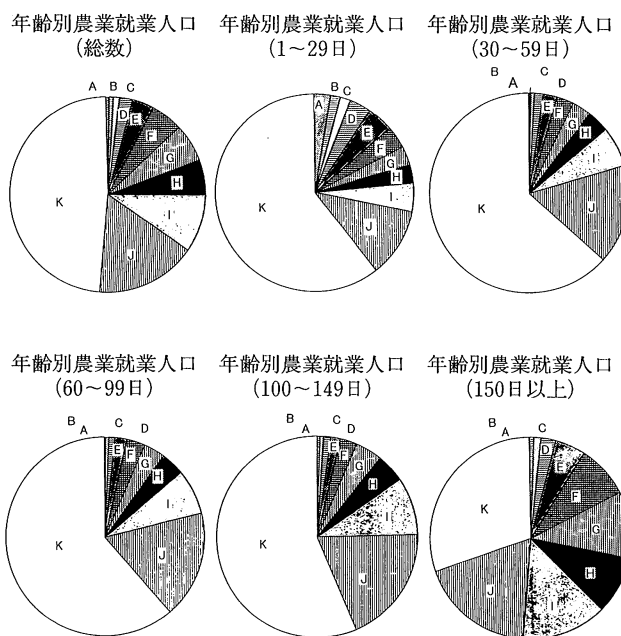
区分	総数	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	34~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上	
実数	計	186,463	1,096	1,274	1,942	3,976	6,679	9,738	11,857	11,004	17,877	31,028	89,992
	男	79,401	788	828	814	1,231	2,079	3,544	4,655	3,761	6,385	12,672	42,644
	女	107,062	308	446	1,128	2,745	4,600	6,194	7,202	7,243	11,492	18,356	47,348
構成比	計	100.0	0.6	0.7	1.0	2.1	3.6	5.2	6.4	5.9	9.6	16.6	48.3
	男	100.0	1.0	1.0	1.0	1.6	2.6	4.5	5.9	4.7	8.0	16.0	53.7
	女	100.0	0.3	0.4	1.1	2.6	4.3	5.8	6.7	6.8	10.7	17.1	44.2

表-12 農業就業人口（年齢別，従事日数別）

単位：人

区分	総数	1~29日	30~59日	60~99日	100~149日	150日以上
計	186,463	35,839	28,569	23,655	23,361	75,039
15~19歳	1,096	975	36	8	18	59
20~24歳	1,274	564	70	55	94	491
25~29歳	1,942	622	169	120	139	892
30~34歳	3,976	1,272	395	239	257	1,813
35~39歳	6,679	1,552	646	445	366	3,670
40~44歳	9,738	1,314	798	696	630	6,300
45~49歳	11,857	1,085	870	820	1,013	8,069
50~54歳	11,004	1,050	1,022	897	1,074	6,961
55~59歳	17,877	1,691	1,863	1,738	2,163	10,422
60~64歳	31,028	4,018	4,609	4,144	4,428	13,829
65歳以上	89,992	21,696	18,091	14,493	13,179	22,533

図-5 農業就業人口の構成（年齢別，従事日数別）



A □ 15~19歳 B □ 20~24歳 C □ 25~29歳 D □ 30~34歳 E □ 35~39歳 F □ 40~44歳
G □ 45~49歳 H □ 50~54歳 I □ 55~59歳 J □ 60~64歳 K □ 65歳以上